

募集活動が本格化 県内各地で広報強化～「サマキャン」展開中！



自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 山内哲也 2等陸佐）は、7月1日（火）、JR鶴見駅前において市街地広報活動を実施した。全国一斉に始まった「令和7年度陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」（通称・サマキャン）の初日にあたるもので、募集活動の本格化にあわせ、県内各地で広報活動を強化している。

このキャンペーンは、陸・海・空自衛隊のリアルな魅力を多くの方に体感してもらうことを目的とし、7月1日から8月31日までの2か月間にわたり展開される。期間中は、日本各地の基地・駐屯地、商業施設、街中などでイベントを開催するほか、様々な広報企画が実施される予定。鶴見駅前の広報活動では、広報官が通行人に声をかけながら、自衛隊の役割や働き方を紹介しつつ、パンフレットやポケットティッシュを手渡した。神奈川地本の大谷本部長も現場に立ち、地域の人たちと直接ふれあいながら広報活動を後押しした。地本キャラクター「はまにゃん」「たま」 「トップニャン」も登場し、多くの人が足を止めるなど人気を集めた。

神奈川地方協力本部は、「少子化や進学志向の影響などで募集環境は厳しいが、『平和を仕事にする』という自衛隊の使命を地域社会にしっかりと伝え、今後も県内各地で丁寧な広報活動を展開していく」としている。

